

高齢者の聴覚補助機器(補聴器)購入時の公的助成を求めることに関する請願書

請願要旨

現在、いわき市では高齢難聴者への補助機器（補聴器等）の助成制度がありません。年々増加する高齢者が、耳が聞こえないために、周囲との会話をためらったり、交わりが少なくなったり、外出することを避けたりする傾向があるといわれます。このように周囲との関係を避けたり、断ち切ったりすることで、認知症になる可能性が増えることも指摘されています。

県内では、相馬市、西郷村、白河市、二本松市、金山町、鏡石町、川俣町、矢吹町、会津若松市、浅川町の10市町村が公的助成制度を設けています。

いわき市議会では、昨年6月議会で、国に対して「聴覚補助機器等の積極的な活用への支援を求める意見書」を採択し、高齢難聴者への聴覚補助機器の必要性への理解を示されました。今回、いわき市としても公的助成制度を実現していただきたく、請願します。

請願事項

耳が聞こえづらいために社会的に孤立し、認知症になる危険性を防ぐために、高齢難聴者への補助機器（補聴器等）は有効な一つ的手段であると言われていきます。

問題は、高額なためになかなか買えないという実態があります。高齢者は、社会のために様々な貢献を行ってきました。高齢者に少しでも実りある生活を送ってもらうために、いわき市が手を差し伸べる必要があると考えます。

そのため、公的負担制度をいわき市でも実現していただきたく、請願します。